

## J-SRI 研究会シンポジウムのお知らせ

J-SRI 研究会 (<http://www.iaj.ga.a.u-tokyo.ac.jp/j-sri/j-index.html>) より、下記のシンポジウムの案内が届いております。

### ----- 新稲作技術エス・アール・アイの展望 —持続可能な開発と環境保全のために—

#### Outlook for the New Rice Cultivation SRI toward Sustainable Development and Environmental Conservation

日時： 2007年7月2日(月) 14:30-16:30

場所： 東京大学農学部弥生講堂一条ホール

入場無料・事前申込不要

主催： J-SRI 研究会

共催： 東京大学大学院農学生命科学研究科 アグリコクーン

(国際農業と文化フォーラムグループ・農学における情報利用研究フォーラムグループ)

後援： 東京大学大学院農学生命科学研究科/東京大学大学院新領域創成科学研究科

協賛： AGS/ASNET/TIGS/土壤物理学会/農業土木学会(予定)

#### 趣旨：

SRI (エス・アール・アイ： System of Rice Intensification) は、1983年にマダガスカルで発明され、1999年以降広く世界で知られるようになったイネの大幅な単収増をもたらす低投入かつ持続的な新稲作技術である。現在までに約20カ国で実証試験が行われており、多くの開発途上国で普及が進みつつあるが、SRIによってなぜイネの収量が増加するかについては、科学的に解明されていない現状にある。

そこで、このSRIに関する基礎情報を収集するとともに、農学分野における科学的に未解明な諸問題に取り組む学術調査研究を推進することを目的として、2007年4月にJ-SRI研究会が設立された。本企画は、J-SRI研究会の主催により、SRIの普及に多大な貢献を今もなお果たし続けているコーネル大学名誉教授のNorman Uphoff氏を招聘し、「持続可能な開発と環境保全にむけての新稲作技術SRIの今後の展望」についての講演会を開催するものである。

本講演会は、日本国内の農学系研究者や学生、そして開発実務の専門家にとっても有益であると思われる。

#### プログラム

- 14:30-14:35 開会の辞 (司会：溝口 勝 J-SRI 事務局長)
- 14:35-14:40 挨拶 (生源寺眞一 研究科長：予定)
- 14:40-15:00 J-SRI 研究会の紹介 (山路永司 代表)
- 15:00-15:10 講演者の紹介 (佐藤周一 DISIMP 所長)
- 15:10-16:10 講演 (Prof. Norman Uphoff, コーネル大学；講演言語：英語・通訳なし)
- 16:10-16:30 質疑応答 (座長：小林和彦 農学国際専攻教授)
- 16:30 閉会の辞 (溝口 勝 J-SRI 事務局長)
- 17:00 情報交換会 (農学部生協にて、会費 2,000 円・学生 1,000 円)

問い合わせ先：アグリコクーン 産学官民連携室

東京大学農学部 3号館 105A号室、電話：03-5841-8882

E-mail：office@agc.a.u-tokyo.ac.jp、<http://www.agc.a.u-tokyo.ac.jp/>